

平成22年2月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 岩 谷 政 良

市 民 ク ラ ブ 渡 辺 良 雄

フ ォ ー ラ ム 2 1 伊 藤 巧 一

共 産 党 佐 藤 純 子

護 憲 ・ わ ん ぱ く の 会 倉 田 芳 浩

秋 水 会 小 原 讓

秋 水 会 高 橋 智 徳

1 市長の政治姿勢について

(1) 就任1年を振り返っての自己評価と職員観について

(2) 民主党政権について

ア 民主党政権に対する評価について

イ 国への陳情システムの変更による影響について

(3) 平成22年度予算について

ア 市長公約をどの程度盛り込んでいるのか

イ 平成22年度予算における経常収支比率、実質公債費比率及び地方債依存度の試算値と、それぞれの健全性について

(4) 行財政改革に向けた今後の取り組みについて

(5) 秋田市記念市民歌について

ア 市民歌としての認識について

イ 市民へのPRと小中学校での普及指導について

2 組織と人の管理について

(1) 今後の職員の年齢構成を踏まえた組織機構のあり方について、どのように考えているのか

(2) 今後の定員管理を踏まえた適正な人員配置について、どのように考えているのか

(3) どのような職員像を描いて、これからの採用のあり方を検討していくのか

(4) 職員の意識改革について、どのように取り組んでいくのか

3 第11次秋田市総合計画について

(1) 家族・地域の絆づくりに対するこれまでの評価と今後の課題について

(2) 期間計画の22年度目標をどのように設定するのか

4 地球温暖化対策について

- (1) 市民及び事業者に対する温室効果ガス排出抑制の普及啓発活動について
- (2) e-市民認定システムへの参加状況と今後の取り組みについて
- (3) 市の事務事業により排出される温室効果ガスの削減目標と取り組み状況について
- (4) 公用車への低公害車の導入状況について
- (5) エネルギーの使用の合理化に関する法律の改正によるエネルギー使用状況報告に対する取り組みについて

5 教育問題について

- (1) 国民読書年について
 - ア 国民読書年に対する認識について
 - イ 市立図書館及び学校図書館における図書購入額の推移と22年度予算について
 - ウ 学校図書館における図書の予算措置率について
 - エ 移動図書館イソップ号の活用について
- (2) 秋田公立美術工芸短期大学について
 - ア 地域貢献について
 - イ 社会人入学について

1 市長の政治姿勢について

(1) 地域主権に対する市長及び全国市長会の見解と今後の方向性について

2 中心市街地のまちづくりについて

(1) 秋田市中心市街地活性化基本計画の見直しについて

(2) 中心市街地内の再開発事業のおくれが路線価の下落に拍車をかけていると思われるが、どう認識しているのか

(3) 移転予定の県立美術館と千秋美術館の一体的整備を検討できなかったのか、また、年間入館者数2万人前後の千秋美術館とアトリオンの現状をどう認識しているのか

(4) 中通一丁目地区市街地再開発組合の員外理事については、行政責任につながることから辞任すべきではないか

3 少子化対策について

(1) 結婚しやすい環境づくりについて

(2) ひとり親家庭に対する支援策について

(3) へき地保育所の今後の運営見通しについて

4 健康長寿社会づくりについて

(1) 秋田市シルバー人材センターについて

ア 市はシルバー人材センターの社会的な必要性をどう認識しているのか

イ 国はシルバー人材センターと地方公共団体が共同で企画提案した事業を支援するとしているが、その活用状況はどうか

ウ 副理事長である商工部長の役割と責任について

(2) 老人クラブの活動支援について

ア 活動に対する現状認識と社会参加活動の支援について

(3) 高齢者のスポーツ振興について

ア 高齢者のスポーツ振興につながるグラウンドゴルフ場の増設について

5 教育行政について

(1) 学校現場における言語教育について

(2) 市民の読書環境の充実について

ア 本市における過去5年間の図書費の推移について

イ 学校図書館及び市立図書館における新刊を含めた図書の整備と利用状況について

ウ 学校図書館における司書の配置状況について

(3) 新学習指導要領実施に向けた準備態勢について

(4) 統廃合により廃校となった校舎の利活用について

ア 地元との協議機関を設置する考えはないか

イ 公共施設利活用検討委員会における検討について

(5) 新成人のつどいをどう総括し、来年度以降につなげていくのか

6 農政転換に伴う課題について

(1) 国の農業農村整備費削減が及ぼす本市の基盤整備事業に与える影響はどうか、また、農道整備等と市単独事業の見通しはどうか

(2) J A新あきたが提出した公平性確保を県等に求める要請書への対応について

(3) 助成水準が引き下げられる転作作物に対し、他市同様追加支援が望まれているが、どのように支援していくのか

(4) 新制度を進めるに当たり事務手続や転作確認、農家指導等の面で行政と農協の果たす役割がこれまでと変わるようであるが、農家にどう説明し、理解を求めていくのか

(5) 新政権が進めようとしている林業政策についてどのように受けと

め、方向づけをしていくのか

7 公共交通政策について

- (1) 秋田市マイタウン・バス北部線については、土崎駅までの路線延伸に努めるとのことであったが、その見通しと経過はどうか
- (2) 秋田市公共交通政策ビジョンは郊外部の利用者の利便性に配慮する視点が欠落していると思うがどうか、また、バス事業者に路線延伸について強力に求めるべきではないか
- (3) 23年度より開設される（仮称）北部市民サービスセンターには、マイタウン・バスも乗り入れに努めるとしていたが、その見通しはどうか

8 墓地及び斎場問題について

- (1) 平和公園に合葬墓を整備する考えはないのか
- (2) 樹木葬に対する認識について
- (3) 平和公園と斎場の駐車場を結ぶ道路を整備し、利便性の向上を図る考えはないのか
- (4) 横山金足線から住宅街に入る手前に斎場へのアクセス道路を新設する考えはないのか
- (5) 市有墓地隣接地の提供の申し出がある場合、拡張し整備することはできないのか、また、市有墓地の管理組合から共同による整備要望が出された場合、どのように対応していくのか

1 市長の市政運営について

- (1) 経済が冷え込んでいる状態で、市民に新たな負担を求めることは避けるべきであり、事業の見直しを図るのも「大転換のとき」、「覚悟を決め」るべきではないのか

2 新成人のつどいについて

- (1) 来年の新成人のつどいは、どのように実施するのか

3 雄和火葬場について

- (1) 斎場の改築後、3年間だけでも雄和火葬場を存続させることはできないのか

4 小中学校の統廃合と耐震化について

- (1) 今後の小中学校の統廃合をどのように考えているのか
- (2) 雄和中学校の耐震化について
 - ア 20年度の耐震診断では、どのような結果が出たのか
 - イ 耐震化が耐震補強から増改築事業に変更されたのは、いつの時点で、経過報告はどのような形で行われたのか
 - ウ 併設型小学校の増築については、どのように考えているのか

5 職員の意識改革とプロジェクトチームについて

- (1) 応用研修の政策研究課題提案企画書を検証し、職員の意識改革につなげていくことは考えていないのか
- (2) 企業集積促進プロジェクトチームが設置されてから3年が経過しているが、どのような効果と成果をもたらしたのか
- (3) プロジェクトチームが組織されたことで職員の意識にどのような変化があったのか

6 漏水対策について

(1) ハンディターミナルでの異常水量の検知基準について

ア 基準を変更したことで、漏水の発見にどのような効果があり、成果はどうであったのか

イ 水量区分及び上限について見直しできないのか

7 住宅リフォーム支援について

(1) 住宅リフォーム支援事業を創設する考えはないのか

8 庁舎整備の方向性について

(1) 新庁舎建設案における11階建ての建築規模を見直すことはないのか

(2) 新庁舎をコンパクト化し、庁舎建設基金だけで建設するのが望ましいのではないか

9 中心市街地の活性化について

(1) 中通一丁目地区市街地再開発事業について

ア 商業施設が3,900平方メートルまで縮小されたことで、にぎわいづくりに影響を及ぼすことはないのか

イ 集合住宅の整備内容が短期間に大きく変更されているが、どのような動きがあったのか

ウ 13階建ての集合住宅は、中心市街地の都市景観を壊すことにならないのか

(2) 中心市街地に大きな医療施設が整備される可能性はあるのか

10 財政運営について

(1) 大型事業が本格化することで、22年度予算は非常に厳しい予算編成になっているが、今後、さらに新庁舎や土崎消防署、新たな市民サービスセンター建設などの大型事業が加わっても、健全な財政運営がで

きると考えているのか

1 市長の政治姿勢について

(1) 国の予算について

ア 鳩山内閣は、「構造改革」路線を継続しようとしているが、地方と国民に与える影響について市長はどう考えているのか

(2) 地域主権について

ア 鳩山政権の「地域主権」をどうとらえ、地方は豊かで、暮らしはよくなると考えているのか

2 平成22年度予算について

(1) 市民生活を守る福祉や地域経済と雇用のために、予算を根本的に見直しすべきと思うがどうか

3 地域の資源を生かす地域づくりと地域経済の活性化について

(1) 本市の経済活性化と雇用拡大について

ア 「本市が有する資源には、雪解けを待つ芽も、発芽を待つ種も無数に埋もれている」と市長は市長説明で述べているが、本市の有する資源とは何を指しているのか

イ 住宅リフォームへの助成制度を実施している自治体では、住宅関連の工務店や業者への経済効果が大きいことから、本市でも同様の制度を創設すべきと思うがどうか

(2) 農業について

ア 後継者をふやすため、積極的に事業を展開すべきではないか

イ 後継者を育成するため、農業法人などへの人件費の補助ができないのか

ウ 生産者と消費者の交流人口の増加を計画的に進めるべきではないか

エ 普及指導員の増員を県に求めるべきではないか

オ 飼料米の増産をどう進めるのか

(3) 森林の復活・再生について

ア 林業予算を増大するように政府に強く求めるべきではないか

イ 公共建築物に木材、特に秋田杉を積極的に活用すべきではないか

ウ 間伐を促進するため、若者の林業の担い手育成や作業道づくりに市が積極的にかかわっていくべきと思うがどうか

4 中通一丁目地区市街地再開発事業について

(1) 事業の凍結または中止を決断すべきではないか

5 本市の公共交通について

(1) 再開発事業での駐車場建設、タウンビークル運行事業は中止し、高齢化社会を見据えた公共交通改善のために、予算を活用すべきではないか

(2) バス料金の引き下げや割引制度の改善、市民要望に基づいた循環バスの運行、バス路線の改善の検討を行うべきではないか

(3) 市民の足を確保するため、マイタウン・バスは、地域住民の要望に合った運行内容にすべきではないか

6 生活保護について

(1) 特に若年層の受給者に対しては、自立支援プログラムなどを作成し、積極的に支援すべきではないか

(2) 就労するための転居指導は、保護の絶対条件ととらえられないよう、十分な配慮をすべきではないか

(3) 職員の過重負担解消と年齢構成を考慮しながら、職員をふやし、相談や訪問など自立支援への取り組みを強化する考えはないか

(4) 車を所有していても、状況に応じて柔軟に対応すべきではないか

7 発達障害児の早期発見について

- (1) 5歳児健康診査を実施すべきではないか
- (2) 就学時健康診断時に、発達障害の知識を持った職員を配置できないか
- (3) 発達障害を市民に広く周知するためのわかりやすくまとめたパンフレットと発達の状況が記録できるものの作成ができないか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 市長の持つ憲法観について
- (2) 「憲法改正」に対する市長の見解について
- (3) 平成22年度当初予算案では、市長の市政に対する強い思いがどのような形であらわれているのか

2 教育行政について

(1) 新成人のつどいについて

- ア 本年の警備上での注意点について
- イ 妨害行為を制止できなかったことは警備上のミスではないのか
- ウ 教育委員会1月臨時会後、教育長が市長に報告した内容はどのようなものであったのか、また、被害届の提出に至った経緯はどうか
- エ 教育長として、被害届を提出したことを、現在どのように認識しているのか
- オ 被害届提出と寛大な処分を求めることに矛盾はないのか
- カ 実名報道により将来ある若者が「傷つけられた」が、その認識はどうか
- キ 被害届の提出は見送るべきという教育長の考えを貫くべきであったと考えるがどうか
- ク 22年度は、新成人のつどいを開催するのか

(2) 全国学力・学習状況調査について

- ア 希望調査に参加すると決めた理由について
- イ 結果の不開示は担保されるのか
- ウ 希望調査参加について、小中学校から意見は聞いたのか
- エ 教職員の負担がふえると考えるが、どのように認識しているのか
- オ 過去3年間のデータから、本市の教育行政の方向性は見出せると考えるがどうか

カ 希望調査参加に対して、教育委員からはどのような意見があったのか

(3) 教育委員報酬額を見直すべきではないのか

(4) 「天皇陛下 御即位から二十年」DVDの学校利用状況について、調査・報告はしたのか

(5) 所得格差と教育格差の関連について、教育委員会ではどのようにとらえているのか

3 市有財産の管理について

(1) 旧市長公舎改修費の積算根拠について

(2) 神社に無償で市有地を貸している事例について

4 生活困窮者に対する支援について

(1) 市民税、固定資産税、水道料金、下水道使用料及び市営住宅家賃の滞納者について、所得や生活状況を把握した上で、必要に応じて生活保護制度の申請を働きかけるべきと考えるがどうか

5 市長公用車について

(1) 市長公用車の私的利用は認められるのか

(2) 市議会会派との懇親会は公務なのか

6 中通一丁目地区市街地再開発事業について

(1) 本事業を凍結する考えはないのか

(2) 本事業の目的は何か、また、各施設における成否の判断基準をどう考えているのか

(3) 将来、商業施設に公的支援をすることは考えられるのか

7 セリオンについて

(1) 入居テナント問題は解決されたのか

(2) 株式会社東北ダイケン秋田支店は、予定どおり次年度から指定管理者として管理運営に当たるのか

- 1 市長の秋田市政に対する基本姿勢について
 - (1) 市政と森川翁の遺訓「三心」について
 - (2) 時代の潮流と市政について

- 2 第11次秋田市総合計画における人口推計と地域別整備方針について
 - (1) 地域別人口について
 - ア 現在の人口について
 - イ 年齢三区分別人口及びその割合と今後の推移について
 - (2) 各地域別整備方針の課題と今後の展望について

- 3 新総合計画について
 - (1) 基本的な考え方について
 - (2) 成長戦略の指針について

- 4 新年度の財政及び予算について
 - (1) 本市の財政課題について
 - (2) ゼロ予算事業について
 - ア ゼロ予算事業に対する認識と評価について
 - イ 本市におけるゼロ予算事業への取り組みの可能性について

- 5 市民憲章の推進について
 - (1) 市政における市民憲章推進の位置づけについて
 - (2) 秋田市民憲章推進協議会への活動支援策の強化について

- 6 危機管理体制について
 - (1) 新たに設置される防災安全対策課の業務内容について
 - (2) 危機管理を統括する人材の登用及び人員配置について

7 地域消防団及び自主防災について

- (1) 消防団員の確保の現状と課題及び今後の対応について
- (2) 水害常襲地域にある地域分団・班の資機材及び装備品について
- (3) 自主防災組織の現状と活性化に向けた支援策について

8 地域産業政策について

- (1) 地域産業政策推進に向けた農林部及び商工部の再編について
- (2) 観光戦略プラン構築事業について
- (3) 農業アドバイザー制の導入について
- (4) 農商工連携の状況について

9 「法教育」の実践について

10 地域の諸課題について

- (1) J R 追分駅の駐輪場の拡張について
- (2) 金足東小学校校舎等の利活用について

1 市長の政治姿勢について

- (1) 市長は、本市のどのようなところが自慢できると感じているのか
- (2) 農業分野における技術力の応用と利活用について
- (3) レアメタルリサイクル産業の振興に力を入れるべきではないか
- (4) 市長公約の変更について
- (5) 平成22年度予算における市債残高はどうか、また、どのような覚悟で市債償還に当たるのか
- (6) 過去最大の国債発行に対する認識について
- (7) 一括交付金に対する認識について
- (8) 中通一丁目地区市街地再開発事業における商業施設を中心としたにぎわい創出について
- (9) 食料問題の解決に向けた対策について
- (10) 女性幹部職員の登用について

2 教育について

- (1) 子供たちのコミュニケーション能力が低下している原因と対策について
- (2) スポーツ少年団の活動の充実に向けた支援について
- (3) 日常生活に役立つ英語力の向上について
- (4) 北海道教職員組合の不祥事に対する認識について
- (5) アトリオンで開催されている木版画の世界展が盛況であるが、その要因を分析し、本市の美術館等における企画展に反映させてはどうか

3 福祉について

- (1) 既存認定保育施設の認可保育所化について
- (2) ファミリー・サポート・センターの現状と今後の取り組みについて

4 快適なまちづくりと除排雪について

- (1) 都市計画道路千秋山崎線における地下道の建設見通しについて
- (2) 除排雪業務委託業者の技術レベルについて
- (3) 橋梁の長寿命化修繕計画について
- (4) 警察や地域と連携した治安向上策について

5 農林について

- (1) 植林の見直しについて